

海外 SD 研修（台湾・台北） 実施報告

- 実施日程：平成 29（2017）年 10 月 25 日（水）～28 日（土）
- 参加者 8 大学 10 名

大学コンソーシアム大阪では、2017 年 10 月に SD 研修の一環として、台湾・台北において初めての海外研修を行いました。今回の研修では、2008 年より交流協定を締結している台湾の全ての大学が加盟する「財団法人高等教育国際合作基金會」とも協議しながら、台北大阪高等教育会議へ参加し同会議での日台両国の職員によるワークショップを行いました。またその前後の日程で台湾教育部（日本の文部科学省に相当）や台湾の高等教育において特色あるプログラムを展開する大学を視察しました。

10 月 25 日（水）教育部、実践大學訪問

台北に移動後、教育部と台北大阪高等教育会議開催校の実践大学を訪問しました。

台湾教育部では、台湾の高等教育事情について説明があり、意見交換を行いました。（写真左）



次に、翌日に開催される「台北大阪高等教育会議」の会場校である実践大學を見学しました。実践大學の特色ある取り組みについてスチューデント・アンバサダーや担当教職員から説明がありました。（写真右）



今回配布された冊子や会場の装飾などは実践大學の大学広報を担う「スチューデント・アンバサダー」と呼ばれる学生がデザインしました。台北の有名な高層ビルの「101」と大阪城をモチーフにした素敵なデザインです。



10月26日(木)台北大阪高等教育会議

2011年から続く大学コンソーシアム大阪会員校と台湾の大学の学長を中心とした会議で、高等教育に関する情報交換を主な目的としています。



2017年は、新たに「SD研修」の場として、学長サミットに加え、学長グループ、職員グループに分かれてそれぞれのテーマで討議を行いました。職員グループのテーマは、「多様な学生の受け入れ」でした。日台双方からグループディスカッションの進行役と事例発表者を出して、共通語として英語を用い、積極的に情報交換と交流を行いました。



10月27日(金) 大学訪問視察

国立臺灣師範大學（中国語教育センター）、輔仁大學、銘傳大學（大学運営ホテル）を訪問し、各大学の特色ある取り組みについてヒアリングしました。

国立臺灣師範大學（中国語教育センター）では、「繁体字」を用いる中国語教育について説明を伺い、教室に加えて、留学生のための宿泊施設を見学しました。



輔仁大學では、学生たちが調理や給仕の実習を行っている食堂を見学し、市民にも大人気という添加物の入っていない美味しいソフトクリームもいただきました。



輔仁大學の国際交流センターの建物の吹き抜けのロビーには、交流校のある国・地域の旗が飾られており、学生に大学の国際交流活動を「見える化」していることが、よくわかりました。



銘傳大學では、学生がフロント業務やリネン交換などのホテルビジネスの実習を行っているホテルを見学しました。サービス精神にあふれる楽しい説明で案内してくれた学生さんのおかげで、あっという間に時間が過ぎました。

